

講演会

in 交野

2023年

10/5 木

13:30-15:30

講演会

当事者が語る

「ひきこもり」

不登校、ひきこもりの経験者2名の方から、当時の思いや、身近な人ができることや考えてほしいこと、支援についてお話しいただきます。講演のあとはUX会議の共同代表理事の林も加わり、会場からの質問にお答えしつつ3名でディスカッションをしていきます。

日時

2023年10月5日[木] 13:30-15:30 [開場 13:00]

会場

交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター) 4階交流ホール

(大阪府交野市天野が原町5-5-1) [JR河内磐船駅から徒歩約3分、京阪河内森駅から徒歩約7分]

参加費

無料・予約不要

※途中参加・途中退出ご自由に

※気軽にご参加いただくために予約不要としていますが、会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。予めご了承ください。

対象者

ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方等、どなたでも

定員

500名

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



登壇者

中谷 信哉氏

堺市在住。33歳。8年半ひきこもりだったが、家族、カウンセリング、精神科、サポステ等の助けもあり、一度諦めた生活を取り戻しつつある。当事者視点の企画マンを目指して、精神科や自助グループで居場所作りに携わる。



登壇者

高木 信洋氏

阪南市在住の31歳。15歳の時(2007年)より、10年ほどひきこもる。主に福祉と精神分野に関心あり。心のしんどさ、辛さの深まる仕組み、ひきこもる人の内面について考えることが多い。当事者団体『さなぎるど』で活動中。



司会進行

林 恭子

一般社団法人ひきこもりUX会議共同代表理事。高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。2012年から当事者発信を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動を行う。著書に『ひきこもりの真実—就労より自立より大切なこと』(ちくま新書)他。

15:45(予定)～
講演会后、
「小さな交流会」
を開催します

会場では、講演会終了後に交流会を実施します。ひきこもり当事者や経験者はもちろん、ご家族や支援者、地域の方など、ひきこもりに関心のある方で集まってみませんか。「こんな状態にあるのは自分だけではないか」「何かできることはないだろうか」と思う方たち同士でお話する中で、気持ちが軽くなったり、つながりが生まれる時間になればと思っています。お気軽にご参加ください。

◎講演会終了後、スタッフから交流会の会場をご案内します。

◎1時間程度を予定しています。

◎途中退出・休憩は自由です。